

UNICEF NEWS in みやぎ

Vol. 50
ユニセフ・ニュース
2008年7月



ユニセフ（UNICEF：国際連合児童基金）は世界の子どもたちの命と健康を守るために活動する国連機関です。第二次世界大戦で被災した子どもたちへの緊急支援を行うため、1946年の第1回国連総会で創立されました。

現在ユニセフは「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」で定められている子どもの「生存」、「発達」、「保護」、さらに「参加」の権利を実現するため、保健、水と衛生、栄養、教育への支援、困難な状況にある子どもの保護、緊急事態下の子どもの救援をその国の政府やNGO（非政府組織）、地域の人々とともにを行っています。

気候変動と子どもたち

地球規模での災害が世界各地で起こっています。その一番の犠牲者は子どもたちです。

5月2日から3日にかけて、ミャンマーをサイクロン「ナルギス」が襲い、13万人以上の死者、行方不明者を出しました。ユニセフは災害発生当初から被災各地の状況を確認、緊急支援活動を続けてきました。水と衛生システムが壊滅状況にあり、著しく脅かされている子どもの命と生存を守るために安全な飲料水や食料の確保、感染症対策、肉親を失った子どもたちの保護や、心理的サポート、学校活動の再開などの支援活動を行ってきました。

5月12日、中国四川大地震では7万人近くの尊い命が奪われました。多くの子どもたちが家族や親しい友人を失いました。四川省は中国でも最も貧しい省



©UNICEF/HQ08-0568/Adam Dean (中国)
損壊した小学校に設置された臨時教室に通う子どもたち。学校の復旧は、子どもたちがごく当たり前の「日常」を取り戻すために重要なステップです。

のひとつであり、ユニセフは地元政府などと連携し、地域の子どもの福祉向上に取り組んでいました。地震発生直後ユニセフ現地事務所に支援要請が入り、水と衛生（トイレ）など、命を守るために必要な基本的な支援活動と、学校で友達と遊ぶというごく普通の「日常生活」を取り戻すことで心のケアにつなげる支援活動などに取り組んでいます。

世界各地で度々発生する台風やハリケーン、サイクロンなどによる甚大な被害に私たちは無関心ではられません。異常気象の主な原因とされる気候変動（地球の温暖化）は、人為的な要因が大きいと言われています。これを避けるには世界が一つになって立ち向かう必要があります。折りしも、7月に北海道洞爺湖で開催されるサミットでも、地球温暖化が議題の焦点となります。

世界150以上の国と地域で活動するユニセフ。ユニセフ本部では自然災害をはじめとする、人道危機の発生を監視し、現地事務所には水や衛生、栄養、保健などの専門家が常駐。テント、浄化剤、医薬品などを常日頃から「万が一」に備えています。



©UNICEF/HQ08-0561/Win Naing ユニセフが届けた学校キット（スクール・イン・ア・ボックス）の中に入った教材を確認する教師たち。（ミャンマー）

ユニセフのつどい 2008 in みやぎ

6月7日(土)13時より、せんだいメディアテーク1Fオープンスクエアにおいて「ユニセフのつどい」を開催しました。ユニセフ宮城県支部の役員やユニセフ会員、ユニセフボランティア、一般の方々など200名の参加がありました。

はじめに、スライドを使って「ユニセフ宮城県支部の2007年度活動報告」を清水智子専務理事が行い、続いて協力団体の代表として立正佼成会仙台教会の安藤さん、みやぎ生協桜ヶ丘店こ〜ぷ委員会の砂金さん、みやぎ生協理事の斎藤章子さんより、日頃のユニセフ活動の報告をしていただきました。

引き続き、写真展「戦争が終わっても〜ぼくの出会ったリベリアの子どもたち」と「朗読の会」のステージがありました。

朗読の会・・・

フォトジャーナリスト高橋邦典さんが写した西アフリカ・リベリアの子どもたちの様子を、言の葉アーティスト渡辺祥子さんが朗読で紹介しました。内戦によって心も身体も傷ついた子どもたちの姿が次々に映し出され、斎藤寛さんのパーカッション&ドラムスの音で、聞く人の心に静かにそして深く響いてきます。会場にはその子どもたちの悲しい現実に涙する姿が数多くありました。生を受けた国が、

そのとき偶然にもリベリアだった子どもたち。その後、笑顔を取り戻すまでの過程は、思わず祈るような気持ちで写真を追っていきました。まさに、邦典さんの発信するメッセージが映像・朗読・音楽の融合により、私たちの心の奥底まですーっと入ってきます。朗読に合わせた手話があり、感情を込めた表現に、子どもたちの姿がさらに痛いほど伝わってきました。この心に湧いた思いを大切にしていきたいと思いました。

—— ボランティア 福田幸子 ——

「朗読の会」終了後は、蚊帳や水がめの展示、ユニセフ製品の頒布、みやぎ生協で取り扱っているフェアトレード商品の販売を行いました。また、ミャンマー・サイクロン被害の緊急募金と中国大地震の緊急募金も呼びかけ、35,762円のご協力がありました。ユニセフ製品は68,750円の取り扱いがありました。会場は一般の方がふらりと立ち寄れるところで、この日はお天気も良く、大勢の方々に「ユニセフ」をお知らせできた一日でした。



57点の写真を展示しました



渡辺祥子さん



緊急募金の呼びかけ



<参加者からの感想>

高橋さん！大切なことを知ることができ、ありがとうございました。物余り、飽食の日本に暮らす若い人たちや子どもたちに見てほしい写真です。感謝と人間愛をもっと感じて生きてほしいです。世界中の一生懸命生きている子どもたちにやがて幸せが訪れることを祈らずにはられません。「自分でできることの一步を踏み出しましょう」大事な言葉ですね。



片腕の少女ムス

ユニセフベア— の待合室

仙台近郊で開業している小児科の待合室には、ユニセフのぬいぐるみやおもちゃがたくさん並んでいます。診察で訪れた子どもたちはそれぞれにお気に入りのおもちゃがあり、見つけるとまっしぐらです。ユニセフ・グッズを置くようになったのはなぜか、6月3日にお話を伺いに行ってきました。



山口正人先生

『ユニセフを知るきっかけは、小児外科の医師としてオハイオの病院に勤務していたとき、一人のドクターがユニセフのネクタイをしていたことでした。私のイタリアの友人もユニセフのネクタイをしています。外国ではごく自然にドネーション（寄付）やボランティアを行っています。子どものころからユニセフ・グッズに触れることは、世界を知ることにつながり、他の国の人たちとの相互理解を深めることにも役立つのではないかと、4～5年前から待合室にユニセフ・グッズを置くようになりました。』

「子どもたちが幸せで平和に過ごせることが一番の願いです」という先生の言葉が印象に残りました。
—— ボランティア 竹中和香 ——

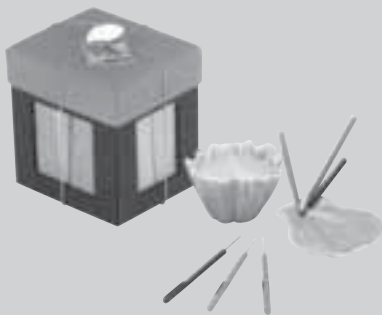
ユニセフカードとギフト 春・夏号 2008

ユニセフ製品は、定価の約50%がユニセフの開発途上国における現地活動資金等として、世界の子どもたちのために役立てられます。カタログご希望の方は宮城県支部へご連絡ください。

◆ユニセフ・ベア ———親子
ふかふかの手触りの親子ベア。
お母さんの手にはマグネット
が入っていて、赤ちゃんをしっ
かりとだっこします。はちみつ
色、贈り物に最適です。中国製。
4,000円



◆ミニ・タオル ———平和の鳩
鳩とオリーブの刺繍入りのタ
オルは肌触りと吸水性にこだわ
っています。リボンのついたラッ
ピングで、手軽なプレゼントと
してご利用ください。日本製。900円



◆お香セット
———ブルーオーシャン
涼しげなブルーで統一された
お香のセット。オリエンタル
な小箱に収められています。
梅雨時のリフレッシュにどう
ぞ。中国製。2,800円

◆大人用スリムTシャツ
———ハロー！
各国語の「ハロー（やあ、こん
にちは!）」という言葉をあし
らった大人用Tシャツは、ウエ
ストをやや絞ったスタイリッ
シュなデザイン。インド製。
素材：オーガニック・コットン95%
ポリウレタン5%
色：白
各2,800円
女性用Mサイズ
女性用Lサイズ



ユニセフ募金報告 (2008年3月～5月：宮城県支部預かり)

石巻市立前谷地小学校 かさまつ児童会
仙台市立郡山小学校
仙台市立鹿野小学校
仙台市立荒町小学校
仙台市立遠見塚小学校
石巻市立相川中学校 生徒会
角田市立横倉小学校 児童会
石巻市立大須中学校 生徒会
石巻市立大原小学校 大草児童会
村田町立村田第五小学校
仙台市立袋原小学校 親善委員会
大郷町立大谷小学校 ふたば児童会

石巻市立石巻小学校 わかば児童会
大崎市立古川第三小学校 あすなろ児童会
栗原市立若柳中学校 福祉委員会
名取市立那智が丘小学校
石巻市立万石浦小学校 しおかせ児童会
石巻市立船越小学校 児童会
仙台市立八幡小学校 白はと児童会
南三陸町立志津川小学校
宮城県白石女子高等学校
仙台市立向山小学校
塩釜地区県立学校 三役会
日本キリスト教団 仙台北教会ナルド会

仙台国税局診療所
(株)東北三恵
明るい社会づくり運動仙台地区推進協議会
国際ロータリー第2520地区東北高校インターアクトOB会有志
松下電器産業(株)生産技術チーム
内科小児科本間医院
みやぎ生協南光台店こ〜ぶ委員会
みやぎ生協白石店 環境デー・フリーマーケット
みやぎ生協白石店 メンバーまつり
みやぎ生協榴岡店ウェルカムパーティ
みやぎ生協南小泉店 秋まつり
みやぎ生協岩沼店フリーマーケット

(敬称略・順不同)

他にも、個人の皆さまからのご協力をいただいております。

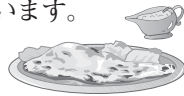
～ご協力ありがとうございました～

お知らせ

これからの予定です。皆様の参加をお待ちいたしております。

◆夏休みユニセフ教室～親子で参加する外国コイン仕分け活動～

日時 2008年8月2日(土) 10:00～14:00
会場 みやぎ生協文化会館ウィズ 2F会議室
(この日に限り、みやぎ生協本部の駐車場が利用できます)
内容 仙台空港に設置された「ユニセフ外国コイン募金箱」
や宮城県支部へ寄せられた外国コインの仕分けを
通して、「世界」に触れてみましょう。午後からは、
ユニセフ学習会と留学生との交流も行います。
参加費 300円(昼食代：ナンとカレー)
申し込みの締め切り 7月23日(水)
お申し込みは、ファックス・メール・電話でお願いします。



①お名前(お子様は学年や年齢も)、②住所、③電話番号をお知らせください

◆第12回ユニセフリーダー研修会

日時 2008年8月4日(月) 10:30～16:00
会場 みやぎ生協文化会館ウィズ 2F会議室
参加対象 県内小中高校・特別支援学校教職員
内容 ユニセフについて理解を深めていただき、学校における
ユニセフ活動のすすめ方やユニセフから考えるさまざ
まな活動の提案をいたします。
講師 (財)日本ユニセフ協会学校事業部 副部長 永井 洋子
参加費 無料(昼食は各自ご用意ください。1時間の休憩を設けます。)
申し込みの締め切り 7月10日(木)
お申し込みは、ファックス・メール・電話でお願いします。



◆ユニセフ入門講座

第1回 9月24日(水)「ユニセフってなに」
第2回 10月15日(水)「子どもの権利条約」
第3回 11月5日(水)「私たちにできること」
開催時間 10:30～12:30
会場 みやぎ生協文化会館ウィズ 2F教室1
定員 20名
参加費 無料
申し込みの締め切り 9月10日(水)
お申し込みは、ファックス・メール・電話でお願いします。

◆会員募集

会員として、世界の子どもたちを応援してください!

- 日本国内での募金活動、広報および政策提言(アドボカシー)活動を担う「日本ユニセフ協会」および「宮城県支部」を、年会費によってご支援いただく方法です。
- 会員の種類・会費・会員期間

| 会員の種類 | 対象 | 年会費 | 会員期間 |
|-------|------------|-------------|-----------------|
| 一般会員 | 個人の方 | 1口 5,000円 | 入会月～1年間 |
| 学生会員 | 18歳以上の学生の方 | 1口 2,000円 | 入会月～1年間 |
| 団体会員 | 団体・法人・企業 | 1口 100,000円 | 毎年4月～翌年3月までの1年間 |

- *会費は募金や寄付金とは異なりますので、寄付金控除の対象にはなりません。
- 「会員申込書」をお送りいたします。宮城県支部までご請求ください。

(財)日本ユニセフ協会宮城県支部

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウィズ内
Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail:unicef@miyagi.coop.or.jp
月曜～金曜日 10:00～16:30

URL <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

お知らせは随時更新しています。

宮城県の会員数

団体: 3
一般: 217
学生: 16